

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 徳島県 】

学校名【 阿波市立土成中学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・③・Ⅳ・⑤（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	第1学年 43名 第2学年 70名 第3学年 69名
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 保健体育科 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目 標 （ねらい）	・パラリンピック競技であるボッチャ体験を通して、スポーツへの興味、関心を高める。 ・オリパラ学習を通して、障がいのある人への理解を深めたり、共生について考えたりできるようにする。
5 取組内容	（1）事前学習 保健体育科の授業において「I'm POSSIBLE」やパンフレット「オリンピック・パラリンピックと徳島」を活用し、パラリンピックやパラスポーツについて理解を深めた。 （2）ボッチャ体験 ・各学年保健体育科の授業で行った。 ・ボッチャの歴史や概要、ルール説明を行い実施した。 ・男女混合で12チームを編制し、6コートに分かれて、4ゲームで得点を競い合った。 ・ボールを投げる強さや方向について相談したり、作戦を考えたりと、協力をして取り組む姿が見られた。 （3）事後学習 ・体験後に感想を書き、振り返りを行った。 ・学年通信や学級通信で体験の内容や感想について、保護者等に発信した。

	
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> • パラスポーツやパラリンピックについて興味・関心を持つ生徒が増えた。 • 学年通信や学級通信等で、保護者等に発信することができた。 • 生徒の感想 <ul style="list-style-type: none"> 「私たちのチームは4対0で勝ちました。パラリンピックの競技について興味がわきました。」 「ボッチャは障がいのある人もみんな楽しくできると思いました。また、誰でも活躍できるスポーツだと思いました。」 「どの角度で投げるか、どのくらいの勢いで投げるかを考えながらするのが難しかったです。でも、考えながらするのが楽しかったです。」 「みんなで協力し、敵・味方関係なく楽しめました。パラリンピックでボッチャをしていたら見てみたいです。」
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> • 全生徒が体験できるように、保健体育の授業を使って実施した。 • 興味関心を高めて取り組めるように、事前学習を計画した。 • 誰もが楽しめるスポーツであるということを実感できるように、チーム分けやコート設営を工夫した。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 本年度は、臨時休業や学校行事開催に際して制限があり、オリパラ事業への取組が遅れた。その分、ボッチャ体験の時期が遅くなった。来年度も同じような状況が予想されるので、早めの計画や調整が必要である。 • 他教科や学校行事との関連を考え、より学習が深まるような計画を立てることも必要である。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • ボッチャ体験セットを購入していただいたので、来年度以降も全生徒が体験できるように計画をたて、継続していきたい。 • 新型コロナウイルス感染症の拡大状況にもよるが、交流学习や体験学習を計画し、実施していきたい。 • 人権教育の取組とリンクさせ、より効果的な取組を計画していきたい。